

科目区分	専門教育科目	授業科目名	子どもの歌と伴奏法 a				科目コード	26Y110	担当者	福井 昭史、中村 浩美、内田 誠、鶴川 佐由美、大野 陽子、宮崎 洋子、村川 千佳、吉田 智子			担当形態	クラス分け
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	2年次	開講学期	春学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士選択			
授業形態	演習	履修条件							教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分				
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び科目との関連								科目に含めることが必要な事項				

授業の主題	幼児教育に用いられる子どもの歌についての理解を深め、その表現に必要な音楽の基礎技能である歌唱とピアノ演奏の技能の向上を図る。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	声楽やピアノの学生個々の課題について復習するなどして、知識や技能の定着を図ることが望まれる。
授業の方法	声楽（子どもの歌の歌唱等）のグループによる授業と、ピアノの個人レッスンの授業を隔週で行う。それぞれの授業は少人数のグループに分けて実施する。	アクティブ・ラーニングの実施方法	個人の課題に対する表現活動を主とする科目であり、学生は各々の目標を定めその解決のための自主的な活動を行う。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	授業についてのオリエンテーション ピアノの学習①学習の内容と方法の理解 ※内容はグループごとに隔週で実施（1班のパターンで記述）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第9回	ピアノの学習⑤（季節の歌、生活の歌、行事の歌等の伴奏）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第2回	子どもの歌の歌唱学習①（季節の歌、生活の歌、行事の歌等）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第10回	子どもの歌の歌唱学習⑤（季節の歌、生活の歌、行事の歌等）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第3回	ピアノの学習②（季節の歌、生活の歌、行事の歌等の伴奏）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第11回	ピアノの学習⑥（季節の歌、生活の歌、行事の歌等の伴奏）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第4回	子どもの歌の歌唱学習②（季節の歌、生活の歌、行事の歌等）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第12回	子どもの歌の歌唱学習⑥（季節の歌、生活の歌、行事の歌等）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第5回	ピアノの学習③（季節の歌、生活の歌、行事の歌等の伴奏）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第13回	ピアノの学習⑦（季節の歌、生活の歌、行事の歌等の伴奏）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第6回	子どもの歌の歌唱学習③（季節の歌、生活の歌、行事の歌等）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第14回	子どもの歌の歌唱学習⑦（季節の歌、生活の歌、行事の歌等）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第7回	ピアノの学習④（季節の歌、生活の歌、行事の歌等の伴奏）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第15回	実技試験と学習のまとめ	学習を振り返り、次の学習に生かせるように課題を明確にする。	
第8回	子どもの歌の歌唱学習④（季節の歌、生活の歌、行事の歌等）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	45分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	こどものうた200/小林美実編/チャイルド本社	受講生へのメッセージ	幼児教育に必要な知識や技能を身に付ける授業です。技能の向上には、学習の継続が欠かせません。こつこつと努力し、練習を積み重ねることで苦手意識を克服し、成就感や達成感を味わい、音楽を楽しむことに繋がって欲しいです。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

